

氏名	林 裕栄	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	老年看護学、在宅ケア学、地域看護学、家族看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	千葉大学看護学部看護学科卒業（看護学士）、埼玉大学 経済学部経済学研究科経済科学専攻（修士課程）修了（修士（経済学））、日本赤十字看護大学 大学院看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）修了（博士（看護学））				
経歴	1984年～埼玉県保健所勤務(5年間)、1989年～埼玉県立衛生短期大学助手・講師、埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師・准教授を経て、2014年～同大学看護学科教授、2023年～副学長兼学部長				
所属学会（役職）	日本看護研究学会（査読委員）、日本在宅ケア学会（代議員）、日本看護学教育学会、日本看護管理学会、日本看護学会、日本褥瘡学会、日本老年看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績									
(1) 著作									
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名		発行等年月	
1	クエスチョン・バンク介護福祉士国家試験問題解説2025	共著	あり	メディック・メディア、561頁		赤羽克子・林裕栄他		2024年4月	
(2) 論文									
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名		発表等年月	
1	一般病棟における男性看護師のキャリア発達-男性看護管理者へのインタビュー調査から-	共著	あり		日本看護管理学会誌 28 (1) pp. 153-163	栞原直弥・林裕栄・善生まり子・江口のぞみ		2024年8月	
(3) 学会発表									
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）			発表等年月	
1	COVID-19感染拡大下において統合失調症を有する者と同居する家族の体験ら-	共著	日本精神保健看護学会第34回学術集会・総会,国際医療福祉大学 成田キャンパス、成田市		○小林亜耶、江口のぞみ、秋山美紀、森田牧子、林裕栄			2024年6月	
2	A県内訪問看護ステーションの新規採用者の人材育成の現状と課題	単著	日本看護研究学会第50回学術集会、奈良県コンベンションセンター、奈良市		○林裕栄			2024年9月	
3	特別養護老人ホームの人材育成と課題 - 看護職の研修ニーズ調査から -	共著	第55回日本看護学会学術集会、熊本城ホール、熊本市		○アリヤ聖子・林晴美・林裕栄・市原かつ江・鷲尾かおる・長谷部朋子・飯島若子・柳澤大恵・山崎みどり			2024年9月	
4	皮膚・排泄ケア認定看護師が訪問看護師に行う褥瘡コンサルテーションの研究～対面と遠隔を併用して～	共著	第26回日本褥瘡学会学術集会、アクリア姫路、姫路市		○島田美穂・林裕栄・武田美津代・善生まり子・辻玲子			2024年9月	
5	認知症高齢者を介護する男性配偶者の介護継続意思	共著	第32回埼玉看護研究学会、埼玉県看護協会研修センター（西大宮）、さいたま市		○岡村茉衣・林裕栄・阿部真純			2024年12月	
(4) その他									
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）			発表等年月	
1	該当なし								

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	訪問看護師育成のための教育ステーションの機能と課題に関する研究	研究代表者	2020.4～2025.3
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	家族看護学	○	6コマ	各回ごとにPWを取り入れたり、動画の視聴をするなど講義にリアリティを増すように工夫した。
2	認知症看護		1コマ	ユマニチュードについて、その理論や活用方法など卒後の実践現場での活用ができるように教授した。
3	老年看護学Ⅰ	○	4コマ	ライフステージの老年期を生きる方々の特徴及び、老年看護の基本、老年看護分野の制度政策、高齢者を主としたヘルスプロモーションなどを教授した。その際には、新しい情報を取り入れるように務めた。
4	老年看護学Ⅳ（地域ケアシステム）	○	8コマ	老年看護学実習Ⅱの体験のリフレクションや地域包括ケアシステムにおける看護職の役割を教授した。地域で活躍している看護師2名をゲストスピーカーとして招き、臨床現場のイメージづくりをすすめるとともに、将来の職業選択について考えることができるように務めた。
5	大学院（博士前期課程）：地域ケア支援論	○	4コマ	地域保健福祉制度の変遷、地域ケアにおける看護理論、今日における地域ケアの動向と課題を教授した。
6	大学院（博士前期課程）：老年看護援助論	○	4コマ	超高齢社会の情勢に応じた高齢者理解のための援助方法について教授した。
7	大学院（博士前期課程）：看護研究		4コマ	質的研究法の1つであるM-GTAをテキストの抄読、論文のクリテークをとおして理解できるように教授した。
8	大学院（博士前期課程）：看護理論		1コマ	臨床で使われる看護理論（大理論、中範囲理論）のうち、家族理論、家族システム理論について教授した。
9	大学院（博士後期課程）：臨床看護開発論		1コマ	質的研究法の1つであるM-GTAの博士論文を通して、質的研究の進め方やM-GTAの手法などを教授した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	大学院（博士前期課程）：看護学特別研究Ⅰ		15コマ	研究課題に決定に向けての文献検討や討議を通じて、研究課題を決定し研究計画書の作成、研究倫理委員会の審査を受けるために指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	老年看護学実習Ⅰ		2024年4月～6月	科目担当者として、実習施設である2か所の老人福祉センターに出向き、学生が利用者とのコミュニケーションの機会などを通して高齢者の心身・社会的側面の理解が深まるよう実習施設関係者との連携を密にして実施した。
2	老年看護学実習Ⅱ		2024年10月～12月	主に特別養護老人ホームでの実習を担当した。施設の機能や看護職の役割、多職種連携について理解できるように実習施設との事前打ち合わせや実習に同行した。
3	総合実習		2024年4月～7月	訪問看護ステーションの実習を行う2名の学生に対して、現地での指導及び看護過程の展開を指導した。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2025.1	主指導 2名	副指導 0名
2	修士論文	2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 0名
3	博士論文	2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県精神看護・精神地域ケア事例検討会	埼玉県	精神科事例検討会を定期的に開催し、県内外の支援者の支援スキルの向上を図った。	2024.5～2025.2
2	新卒者等訪問看護師育成研修 講師	埼玉県訪問看護ステーション協会	講義「キャリアをデザインする」「家族看護」年2回、および事例検討会（月1回）	2024.5～2025.2
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県福祉部地域包括ケア	埼玉県ケアラー支援に関する有識者会議 委員		2020.6～2024.5
2	埼玉県保健医療部医療人材課	埼玉県看護職員確保委員会 委員		2020.10～2024.5
3	埼玉県保健医療部	埼玉県訪問看護推進検討委員会 委員		2018.4～2024.5
4	日本看護学教育学会	評議員・査読委員		2020.6～2024.6
5	日本看護研究学会	査読委員		2020.7～現在
6	日本在宅ケア学会	代議員		2022.6～2026.5
7	もくせい家族会	評議員		2017.4～現在
8	埼玉県訪問看護ステーション協会	顧問		2016.4～現在
9	埼玉県訪問看護ステーション協会	新卒者等訪問看護師育成プログラム作成委員会		2015.4～現在
10	認知症者と家族の会	相談世話人		2003.4～現在
11	埼玉県看護協会	看護師職能委員Ⅱ		2019.6～2025.5
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	副学長兼学部長		2023.4～2025.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	埼玉県立大学後援会顧問		2023.4～2025.3
6.受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	第32回埼玉看護研究学会奨励賞受賞（共同研究者）	埼玉県看護協会		2024年12月
7 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			